

## 取扱説明書

工事説明付き

### カメラ天井直付金具 品番 WV-Q160S



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書は大切に保存してください。

取扱説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

「日本エリア」でお使いの場合に限ります。日本以外でお使いの場合のサービスはいたしかねます。

パナソニック システムお客様相談センター

電話 フリーダイヤル **0120-878-410** 受付：9時～17時30分  
(土・日・祝祭日は受付のみ)  
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

## パナソニックi-PRO センシングソリューションズ株式会社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号

© Panasonic i-PRO Sensing Solutions Co., Ltd. 2019

PGQX2211YA  
Ns0817-1109  
Printed in China

### 商品概要

本金具は、ネットワークカメラ用のカメラ天井直付金具です。対応機種は、カタログまたはカメラの取扱説明書をお読みください。  
※スモークドームカバーの透過率は約50%です。

### 付属品をご確認ください

取扱説明書（本書）……………1冊      以下の付属品は取付工事に使用します。  
インナーカバー……………1個

## 1. 設置上のお願い

本機は屋内専用です。屋外では使用しないでください。  
本機をネットワークカメラに取りつけるときは、カメラ取付金具（カメラ付属品）にカメラを固定した後に取り付けます。カメラを設置する際には以下の内容にご注意ください。

- 設置場所は、カメラ取り付け時の総質量（約1.4kg）に十分耐えられる強度を持っていることを確認してから取り付けてください。
- カメラ取付金具（カメラ付属品）を天井面に固定するねじは付属していません。取り付け場所の材質や構造、総質量を考慮してご用意ください。ただし、木ねじやくぎは使用しないでください。
- 以下のような場所での設置および使用はできません。
  - ・ プールなど、薬剤を使用する場所
  - ・ ちゅう房などの蒸気や油分の多い場所
  - ・ 溶剤および可燃性雰囲気などの特殊環境の発生する場所
  - ・ 放射線やX線、および強力な電波や磁気の発生する場所
  - ・ 海上や海岸通り、および火山地帯・温泉地などの腐食性ガスが発生する場所
  - ・ 使用温度範囲（-10℃～+50℃）を超える場所
  - ・ 車輻、船舶や工場ライン上などの振動の多い場所（本機は車載用ではありません）
  - ・ 雨や水が直接かかる場所（軒下なども含む）
  - ・ 湿気やほこりが多い場所
  - ・ エアコンの吹き出し口近くや外気の入り込む扉付近など、急激に温度が変化する場所（ドームカバーが曇ったり、結露する場合があります）
- ねじやボルトは取り付け場所の材質や構造物に合わせてしっかりと締め付けてください。ねじやボルトを締めたあとは、目視にて、がたつきがなく、しっかりと締められていることを確認してください。
- 取付場所のねじ引抜強度は、1本あたり196N {20kgf} 以上必要です。

## 2. 安全上のご注意

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

**警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

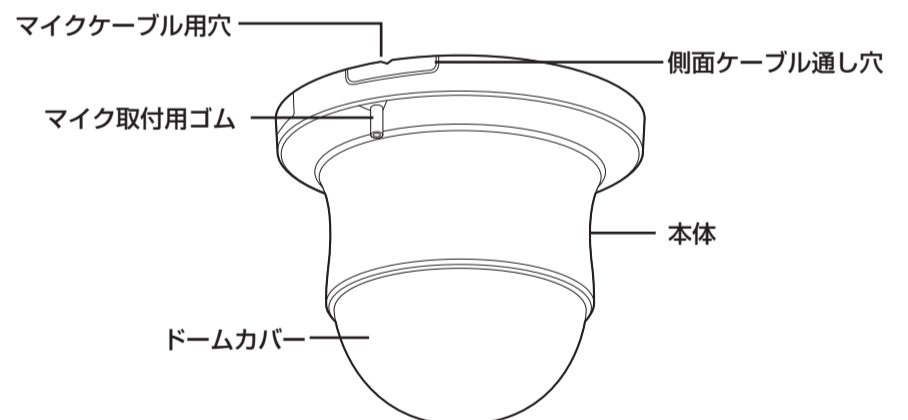
■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

- ⊘ してはいけない内容です。
- ! 実行しなければならない内容です。

### 警告

- ⊘ **禁止**
  - 専用のカメラ以外は取り付けない  
(落下によるけがや事故の原因となります。)
  - 塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない  
(取付部が劣化し、落下によるけがや事故の原因となります。)
- !
  - 工事は販売店に依頼する  
(工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。)  
⇒必ず販売店に依頼してください。
  - 振動のないところに設置する  
(取付ねじやボルトがゆるみ、落下などでけがや事故の原因となります。)
  - 人がぶつからない高さに取り付ける  
(けがの原因となります。)
  - 落下防止対策を施す  
(落下によるけがの原因となります。)  
⇒落下防止ワイヤーを必ず取り付けてください。
  - 定期的に点検する  
(金具やねじがさびると、落下によるけがや事故の原因となります。)  
⇒点検は、販売店に依頼してください。

## 3. 各部の名前



### メモ

- 側面ケーブル通し穴は、ニッパーなどで取り外してください。
- タイピン型マイクを使用するときは、マイク取付用ゴムにマイクを取り付けてください。使用しないときは、マイク取付用ゴムをニッパーで切るなどの処理をしてください。

### 重要

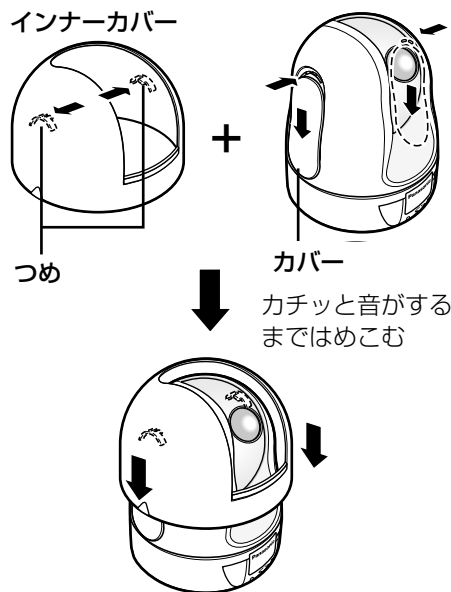
- けが防止およびケーブル保護のため、切り欠き部分はエッジにならないようにヤスリなどで仕上げてください。

# 4. 取り付けかた

取り付ける前に、「1. 設置上のお願い」「2. 安全上のご注意」を必ずお読みください。また、ネットワークカメラの「取扱説明書 設置編」もあわせてお読みください。

## 1 インナーカバーを取り付ける

カメラの側面にあるカバー（両側）を下側にスライドさせ、インナーカバー内側のつめがカメラ側の穴に入るまで（カチッと音がするまで）確実にはめ込みます。



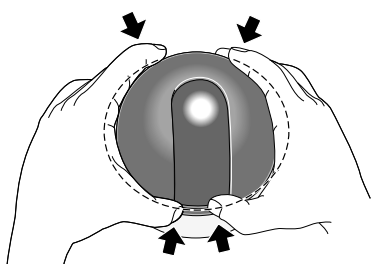
### 重要

- インナーカバー開口部（カメラレンズが見える部分）の両側から、カメラの外側カバーが見えなくなる位置までインナーカバーをはめ込んでください。取り付けが不十分な場合、インナーカバーが外れたり、広角側で画面上部の隠れる部分が大きくなります。

### インナーカバーの取り外しかた

- インナーカバーの前後を外側から押し（つめと同じ高さ付近）、インナーカバーをたわませてカメラ本体からインナーカバーを取り外します。

前後を押してたわませる

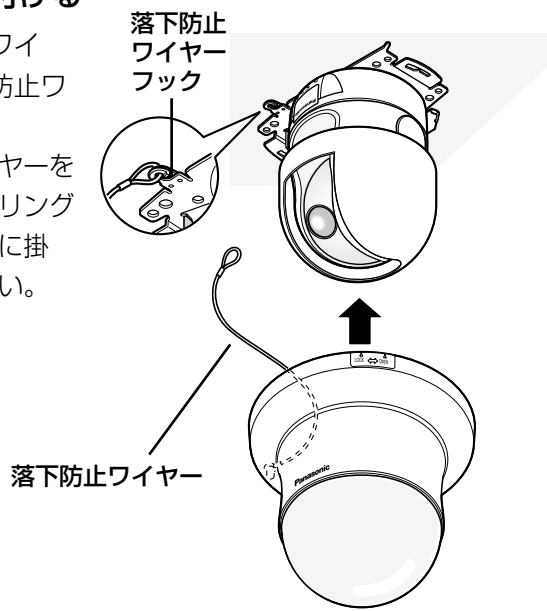


## 2 カメラを取り付ける

カメラ取付金具（カメラ付属品）を天井に取り付け、カメラを取り付けます。詳しくは、ネットワークカメラの「取扱説明書 設置編」をお読みください。

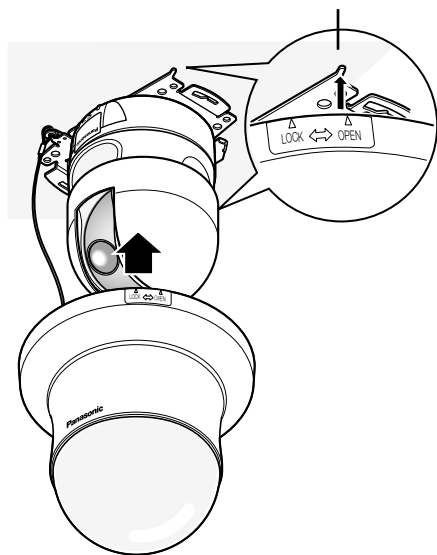
## 3 本機をカメラ取付金具に取り付ける

- ① 本機に固定されている落下防止ワイヤーを、カメラ取付金具の落下防止ワイヤーフックに取り付けます。取り付けたあとは、落下防止ワイヤーを引いて、落下防止ワイヤーの先端リングが確実に落下防止ワイヤーフックに掛かっていることを確認してください。



- ② 本機の「OPEN」マーク（2か所）をカメラ取付金具の凸部（2か所）に合わせて取り付けます。

カメラ取付金具凸部



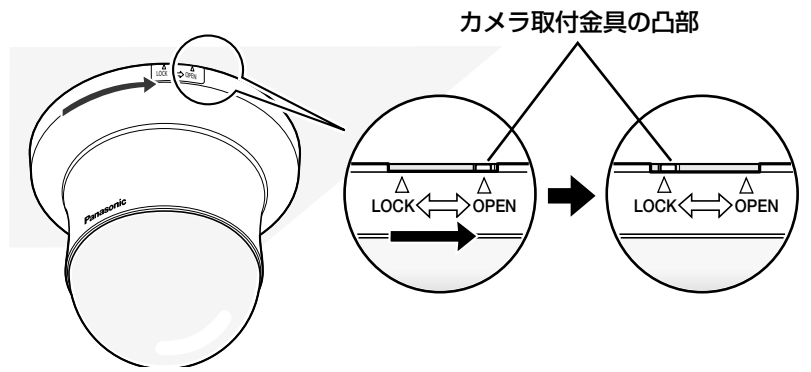
### メモ

- カメラ本体の Panasonic ロゴと本機の Panasonic ロゴが同じ位置になる向きで取り付けてください。

### 重要

- ケーブル類をはさみこまないように注意してください。

- ③ 本機の「LOCK」マークにカメラ取付金具の凸部がくるまで、本機を時計回りに回します。



## 4 ドームカバーに付いている保護シートをはがす

### メモ

- カメラを水平方向に向けると、本機が画面に映りこみ画面の上側が隠れます。その際はチルト角度を調整してください。詳しくは、ネットワークカメラの「取扱説明書 操作・設定編」をお読みください。

# 5. 仕様

使用温度範囲	-10℃～+50℃
寸法	φ 185 mm 高さ 163 mm
質量	約 230 g
仕上げ	本体 : ABS 樹脂 シルバーメタリック塗装 ドームカバー : PMMA 樹脂 スモーク

## 高所設置製品に関するお願い

安全にお使いいただくために、1年に1回をめやすに、販売店または施工業者による点検をおすすめします。

本機を高所に設置してお使いの場合、落下によるけがや事故を未然に防止するため、下記のような状態ではないか、日常的に確認してください。

特に10年を超えてお使いの場合は、定期的な点検回数を増やすとともに買い換えの検討をお願いします。

詳しくは、販売店または施工業者に相談してください。

### このような状態ではありませんか？

- 本機を使用せずに放置している。
- 取付ねじがゆるんだり、抜けたりしている。
- 取付部がぐらぐらしたり、傾いたりしている。
- 本機および取付部に破損や著しいさびがある。

### 直ちに使用を中止してください

事故防止のため、必ず販売店または施工業者に撤去を依頼してください。

事故防止のため、必ず販売店または施工業者に点検を依頼してください。

## 長期間使用に関するお願い

安全にお使いいただくために、販売店または施工業者による定期的な点検をお願いします。

本機を長年お使いの場合、外観上は異常がなくても、使用環境によっては部品が劣化している可能性があり、故障したり、事故につながることもあります。

下記のような状態ではないか、日常的に確認してください。

特に10年を超えてお使いの場合は、定期的な点検回数を増やすとともに買い換えの検討をお願いします。

詳しくは、販売店または施工業者に相談してください。

### このような状態ではありませんか？

- 異常・故障がある。

### 直ちに使用を中止してください

故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店または施工業者に点検や撤去を依頼してください。

※ Ethernet ケーブルで給電 (PoE) するモデルや音声対応していないモデルもあります。